

新商品紹介コーナー

60日間メンテナンスフリーの捕虫器 ムシボンMPR-01新発売

食品工場や医薬品工場などの防虫管理に利用されている捕虫器でおなじみのムシボンシリーズから、自動巻取り式捕虫器「MPR-01（右側に本体写真）」が新発売されました。

デザインはスタイリッシュで、お客さまの目に触れる場所でも気兼ねなく設置できます。前面にある19のスリット（切れ目）から漏れ出す光が昆虫をしっかりと誘い込み捕獲できます。捕虫器のメンテナンスに手間をかけたくないわがままなお客様にはぴったりです。自動巻取りになったことで、60日間常に新しい捕虫紙面が供給されるので捕虫効率が落ちません。さらには、臨床医療検査装置と同じ精度の純正国産モーターを使用し、高精度・高耐久・超静音、故障が少なく安全です。



本体写真

アタマジラミ

近年、再流行しているアタマジラミの成虫と卵が偶然にも手にはいりました。そこで、今回はアタマジラミについてご紹介します。



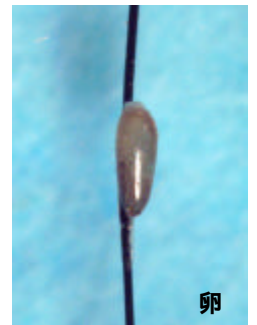
成虫

アタマジラミはヒトの頭に寄生するシラミです。アタマジラミは感染症を直接媒介することはありませんが、吸血により激しいかゆみや皮膚炎を起こします。なお、何と云っても寄生したことによる精神的なショックは様々な悪影響をもたらします。アタマジラミは主に頭髪の接触により伝染しますが、髪の毛から落ちたアタマジラミは生存が短く、1~2日程度で死滅すると言われています。被害は12歳以下の子供に多いのが特徴です。

日本では年間50万人が、アタマジラミに悩まされているとの話もあるようです。この流行の原因は、貧しさや不衛生であることではなく、外国からの移入や、アタマジラミを知らない世代の増加でシラミに対して無防備であること、シラミの薬剤抵抗性発達の可能性（日本で承認されているシラミ駆除薬剤は2種のみ！）などが考えられるそうです。

アタマジラミの駆除対策は、シラミ駆除専用のパウダー剤もしくは、シャンプー剤での駆除、また、物理的にクシで取り除くことが挙げられます。そして、何より親が子供の頭を丁寧に調べて早期発見し、確実な処置を行うことが大切です。また、学校等では発生が見つかりと瞬く間に全体に広がることもあるので、集団の中では一斉対策が必要となります。

国立感染症研究所では、アタマジラミの薬剤感受性調査のためにアタマジラミを集めています。もし、アタマジラミを発見されましたら、是非提供してください。詳しくは、国立感染症研究所のホームページ（<http://www.nih.go.jp/niid/entomology/headlice/headlice.html>）をご覧ください。



卵

自然にやさしい総合生物害防止システム Symbiosis with Nature

株式会社帝装化成

URL <http://www.teisokasei.com>

E-mail info-teiso@teisokasei.com

本社	〒468 0045	名古屋市天白区野並 2丁目 334番地の2	TEL 052-891-8311	FAX052-891-8440
名古屋	〒468 0045	名古屋市天白区野並 2丁目 334番地の2	TEL 052-891-8311	FAX052-891-8440
岐阜	〒501 6264	岐阜県羽島市小熊町島 4丁目 61番	TEL 058-392-6454	FAX058-392-6407
四日市	〒510 0851	三重県四日市市塩浜町 1番地 87	TEL 059-345-3571	FAX059-345-3572
北陸	〒920 0027	石川県金沢市駅西新町 3丁目 4番 25号	TEL 076-261-6474	FAX076-222-6400
新潟	〒950 0906	新潟県新潟市中央区東幸町 1番 15号ナドビル 1階	TEL 025-243-6471	FAX025-243-6422
D C G	〒468 0045	名古屋市天白区野並 2丁目 334番地の2	TEL 052-891-8311	FAX052-892-0444